

第10回 ごみと水を 考える集い

2022年

入場無料

1月23日(日) 12:30~15:30

会場 藤前会館(名古屋市港区藤前1-742)

定員 おおむね 80名(先着順)

申込締切：2022年1月15日(土)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては変更・中止することがあります。

申込方法

HP、またはQRコードから申込フォームにアクセスし、申込みください。



呼びかけ団体

土岐川・庄内川源流の森委員会
NPO 土岐川・庄内川サポートセンター
22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会
四日市ウミガメ保存会
藤前干潟クリーン大作戦実行委員会



講演

藤前干潟のプラスチックごみ、
マイクロプラスチックの現状について
名古屋市環境局減量推進室、
名古屋市環境科学調査センター



世界的に大きな問題となっている海洋プラスチックごみ。ラムサール条約湿地である藤前干潟にも多くのプラスチックごみが漂着しています。名古屋市環境局が2021年秋に実施した藤前干潟のプラスチックごみ、さらにはマイクロプラスチック調査から分かった現状などを紹介いただきます。

報告

①ヨシ原復元に向けた取り組みについて
藤前干潟クリーン大作戦実行委員会

水質を浄化し、多くの生きものすみかとなるヨシ原は藤前干潟の大きな宝です。

また、ヨシ原は上流からの漂着ごみを海へ流れ出るのを防ぎ、私たちの清掃活動の助けになっています。9年間にわたるヨシ原復元の活動成果について報告します。

②ヨシ原のドローン撮影からわかったこと
③底生生物の生息状況調査
中部大学応用生物学部上野研究室

ヨシ原の復元に向けて土壌調査、ヨシ植栽・生育調査、漂着ごみの影響調査等を行ってきた上野研究室。今回は、上空からドローン撮影したヨシ原の状況を報告します。また、藤前干潟にすむゴカイなどの底生生物調査の結果も発表します。

発表と交流

進行：環境省名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー

ゲスト：南陽高等学校、
名経大市邨高等学校、
聖カピタニオ女子高等学校、
中部大学

藤前干潟やその流域の保全に関わる若い力がますます活躍してきています。藤前干潟での活動経験のある学生の方々に、それぞれの活動や思いなどを紹介・発表いただきます。

